

2017  
vol.56  
no. 3

# 写真測量とリモートセンシング

## 目次

〈巻頭言〉学会活動と「測技協」の接点を振り返る	齊藤和也	67
〈カメラアイ〉エンターテインメントで活躍するリアル3次元都市モデル	山口由美子	68
〈原著論文〉空間体積・幹材積のモデルを用いた航空レーザに基づく 森林蓄積推定法の汎用化に関する研究 —岐阜県におけるスギ・ヒノキを例として—	竹島喜芳	70
〈解説〉UAVを用いた公共測量マニュアル(案)の改正と、 地上レーザスキャナを用いた公共測量マニュアル(案)の作成 —i-Constructionの推進を目指して—	国土地理院 i-Construction 推進本部事務局	81
〈活動報告〉平成29年度年次学術講演会 報告	望月貫一郎	88
〈活動報告〉第56回定時総会 報告	布施孝志	90
〈活動報告〉ISRS 2017開催報告	竹内 渉	92
〈活動報告〉「地上レーザスキャナを用いた公共測量マニュアル(案) 解説セミナー」の開催報告	佐々木公一	94
〈文献抄録〉近未来の交通・物流と都市生活： ユニバーサルデザインとエコデザインの融合	山本浩万	96
〈文献抄録〉データ分析の力 因果関係に迫る思考法	本間亮平	97
〈会のうごき〉		99
〈投稿要領・執筆要領・原稿送付状〉		101

表紙説明：WorldView-3衛星は、米国DigitalGlobe社によって2014年8月13日に打上げられ、現在運用が続けられています。この衛星には、可視近赤外センサに加えて短波長赤外域SWIRの8バンドセンサが搭載され、リモートセンシング分野での新たな利用が期待されています。表紙は、2015年6月15日に、SWIRで茨城県つくば市付近を観測した画像です。本来の空間分解能は直下で3.7mですが、公開画像は米国政府の規制で7.5mとなっています。SWIR-1(1195-1225nm)を緑色濃淡、SWIR-8(2295-2365nm)を赤色濃淡で色合成したものです。SWIR-1は、近赤外との境界帯域で、植生を強く反射し、SWIR-8は土壌を強く反射し、土壌に水分が多いと反射が低下する特性があります。画像内の裸地や畑地は茶色の色調で表現され、場所により微妙に色調が変化しているのが確認されます。また水田地帯は暗い緑で表現され、水田区画内の濃淡の差は、水稻の生育状態の差異を反映していると推測されます。

企画製作：長岡技術科学大学 力丸厚，©DigitalGlobe/画像提供：日本スペースイメージング

本学会のホームページを開いたしておりますのでご覧ください。

<http://www.jsprs.jp>

E-mail: [office-jsprs@jsprs.jp](mailto:office-jsprs@jsprs.jp)

### 編集委員

委員長	織田和夫	(ア	ジ	ア	航	測	(株))
委員	浅沼市男	(東	京	情	報	大	学)
	五十嵐保	(リ	モ	ト	・	セ	ン
	石塚直樹	(農	業	環	境	技	術
	今井靖晃	(国	際	航	空	研	究
	木寺幸司	(日	本	測	量	協	会)
	鈴木英夫	(朝	日	航	空	開	発
	高橋陪夫	(宇	宙	航	空	研	究
	近津博文	(東	京	電	機	大	学)
	中村孝之	(国	土	地	理	院)	
	藤野千和子	(日	本	写	真	測	量
	布施孝志	(東	京	大	学)		
	政春尋志	(東	洋	大	学)		
	望月貫一郎	((株)	パ	ス	コ	)	
	吉野邦彦	(筑	波	大	学)		
	力丸厚	(長	岡	技	術	科	学